

Time:12:30時点

※前回報:11月15日報 Vol:27

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

G7はロシア産原油上限価格を1バレル60ドルに設定、市況下回る価格を維持する方針

■ [12月CP] プロパン: \$650 (前月比+\$40)、ブタン: \$650 (前月比+\$40) ■ [11月MB平均]: \$440 (前月比▲\$2)

エネルギー市場

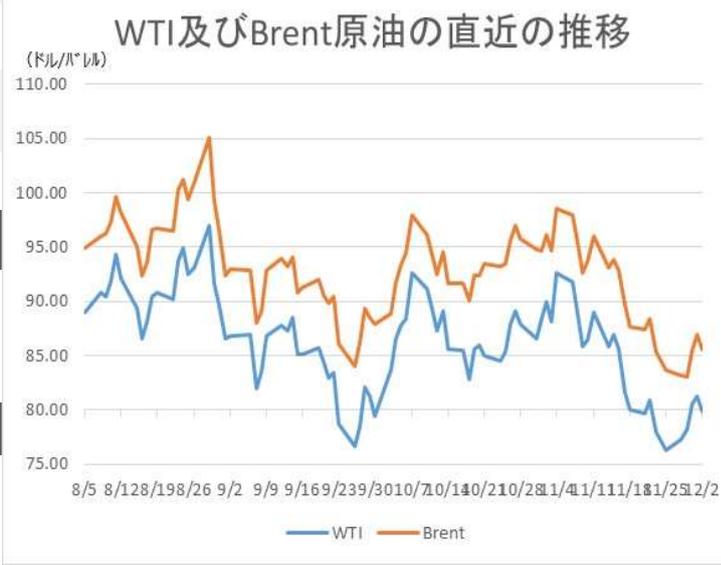
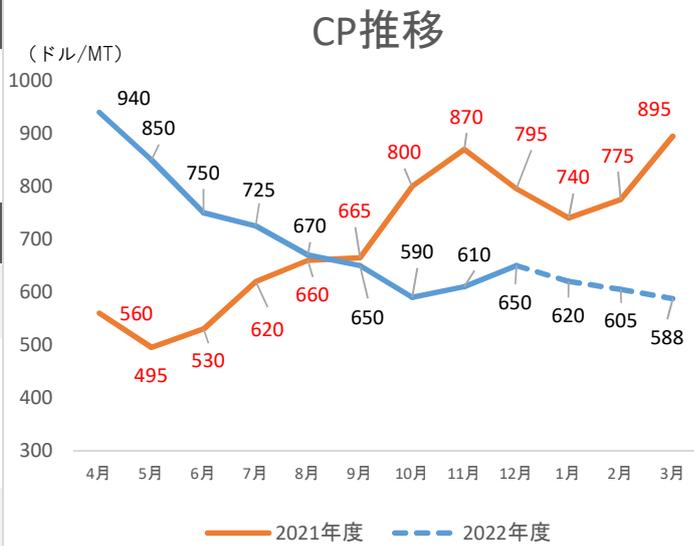
原油 先物 (USD/BBL)	今回
NY/WTI (1月)	79.98
北海Brent (1月)	85.57

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 1月	620	▲10	88%	+7%
MB 12月	442	▲15		

プロパン	2月	3月	4月	5月	6月
CP先物	605	588	569	553	539
プロパン	1月	2月	3月	4月	5月
MB見通し	449	455	452	448	448

外航フレート (USD/MT)	12/2時点			
中東-日本	139.0			
米国-日本 (パナマ運河経由)	207.0			
為替/TTS	12月予測	11月	10月	9月
USD/円	20日 138.03	146.47	146.84	141.57
	末日 136.67	143.48	148.19	144.09

LPガス売り12月改定幅 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: +4,270	+7,680
ENEOSグローブ	改定レンジ: +1,100	+4,400
アストモスエネルギー	改定レンジ: +2,100	+5,200
ジクシス	改定レンジ: +1,200	+4,300



マーケット概況

	今回		今回
NYダウ (US\$)	34,429.88	TOPIX (円)	1,953.98
S&P500 (US\$)	4,071.70	金 (Gold) 先物 (US\$)	1,811.40
米国債券10年利回り (%)	3.492	VIX恐怖指数 (%)	19.06
日経平均 (円)	27,777.90		

今週のTOPIC

G7はロシア産原油上限価格を1バレル60ドルに設定、市況下回る価格を維持する方針

原油概況

★中国ゼロコロナ政策継続や米国利上げ懸念でWTIは\$70台まで軟化

影響度

強気・
上昇要因

- ① 中国は主要都市の広州市と重慶市でコロナ規制緩和
- ② 米国原油在庫量は2019年以降初めて前週比1,300万バレル減少
- ③ OPECの11月原油生産量は前月比日量71万バレル減少

弱気・
下降要因

- ① 中国ゼロコロナ政策継続で燃料需要減退の懸念
- ② ロシア産原油を中欧諸国に運ぶドルジバ・パイプラインが再開
- ③ OPECは2023年世界石油需要の見通しを前回から日量10万バレル引き下げ

LPガス概況

★北半球が需要期に入るも原油価格軟化によりCP\$600前後で推移する予測

(強気)

- ① パナマ運河の滞船状況継続（南向き航路22日）により供給量が減少

(弱気)

- ① 米国プロパン在庫は785万tと生産増により前年同期比155万t増加
- ② インド国内の精製品LPガス供給量が安定しており輸入需要が減少

「ロシア産原油上限価格設定の影響」

- ・ G7とEUは12月からロシア産原油の禁輸とEU域外へ海上輸送されるロシア産原油の上限価格（60\$/BBL）設定に合意しました。
- ・ 上限価格設定はウクライナに侵攻するロシアの資金減少を目的とし、G7、EU以外の国々にも参加を呼び掛けていますが、中国とインド等は参加する姿勢を示していません。
- ・ ロシアは上限価格設定に協力する国への輸出制限を宣言しており、世界3位の産油国であるロシアの供給制限は今後の世界需給に大きく影響する可能性があります。